

# 寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画

山形県寒河江市

## 寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画の策定にあたって

本市では、「日本一さくらんぼの里」をキャッチフレーズに、まちづくりを進めてきた結果、さくらんぼの最盛期となる初夏には県内外から多くのお客様をお迎えしております。しかし一方で、年間を通して集客力のある観光資源の開発と、その魅力を磨きあげ全国に発信することが急務となっております。

こうした状況を踏まえ、本市では、千年の歴史を超えて数多くの文化財を有する慈恩寺にスポットをあて、新第5次寒河江市振興計画の中で重点的に取り組むテーマとして「慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト」を掲げて施策を展開しております。

この計画は、慈恩寺の国史跡指定に向けた取り組みを契機として、生活の場でもある地域で、歴史的財産を保存し活かしながら、観光振興、地域づくり、さらには本市の発展につなげたいという市民の思いを結集したものであります。

計画の推進にあたっては、行政はもとより地域の皆様、本山慈恩寺、商工・観光団体などの関係団体、関係者が一丸となって連携・協働し、一步一步着実に、時にはスピード感を持って進めていくことが肝要であると考えております。

結びになります。本計画の策定にあたり、多大な御尽力を賜りました寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会の皆様、オブザーバーとして検討委員会に職員を派遣いただきました東北経済産業局、協力団体として支えていただいた寒河江市商工会の皆様、また、提案やアイデアをお寄せいただいた多くの皆様に深く感謝申しあげ、計画策定にあたっての御挨拶といたします。

寒河江市長 佐藤 洋樹

## 目 次

### 本 編

#### 序 章 計画策定の趣旨

1. 計画策定の背景..... 1
2. 計画策定の目的..... 2
3. 計画の期間..... 2

#### 第 1 章 慈恩寺の観光の現状と課題

1. 慈恩寺の観光の現状..... 3
2. 市民からの提案..... 7
3. 慈恩寺の観光の課題..... 9

#### 第 2 章 基本理念と全体像

1. 慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画におけるコンセプト... 11
2. 慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画における基本方針..... 12
3. 将来像..... 13
4. 計画の全体像..... 15

#### 第 3 章 事業推進に向けて

1. 事業推進体制の考え方..... 20
2. 事業プログラム..... 21

### 資 料 編

- 計画の策定経過..... 22

## 序章 計画策定の趣旨



## 1. 計画策定の背景

---

### ◆重要な資源の存在

寒河江市の北部に広がる葉山の南麓に位置する慈恩寺地区は、天平 18 年（746 年）に開かれたといわれる一山寺院・慈恩寺を中心に形成されてきた地域です。

国の重要文化財の本堂をはじめとする数多い優れた文化財や優れた自然資源がありますが、時代の流れや環境の変化などに伴い重要な資源が損なわれつつあります。

### ◆地域の活力の低下

慈恩寺地区は、慈恩寺のお勤めや農業により営まれてきましたが、近年は、人口の減少や高齢化などにより地域の活力が低下しつつあります。

また、寒河江市の観光は社会経済情勢の変化もあり、観光客の入込み数が減少していることから、地域経済を支えるひとつの柱としてその振興が期待されます。

### ◆慈恩寺地区の資源の保全・活用と観光振興の取組

寒河江市では、これまで駐車場の整備や事業PRなど慈恩寺地区の観光振興に取り組んできました。地域では、慈恩寺蓮池の再生、ホテルの愛護活動、大晦日の花火大会、そして六地藏ウォークラリーなどのイベント開催に取り組んでいます。また、慈恩寺本山では秘仏公開などを行ってきましたが、本格的な観光振興には至っていません。

一方、平成 22 年度から慈恩寺国史跡指定推進委員会を設置し、文化財の基礎調査等に取り組んでおります。国史跡となることにより、慈恩寺の貴重な文化財・史跡等が後世まで保護されるとともに、慈恩寺の価値が全国に認知され寒河江市の発展につながることを期待されます。

### ◆実効性ある観光まちづくり計画の必要性

「新第5次寒河江市振興計画」においては、「重点プロジェクトの一つとして位置づけており、初夏のさくらんぼ観光を基幹とした観光施策に加え、慈恩寺の観光資源を活用した地域ブランド化による地域経営と、観光振興に関する計画を立てることにしました。

### ◆計画の特色

計画の策定にあたっては、国史跡指定との調整を図りつつ、寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会がまとめた計画を基本としています。

その内容は、施策・事業の内容を具体的に示し、事業主体・推進主体、スケジュールを明示して、行政はもとより、関係機関、団体、地域が協働・連携する実効性の高い計画としています。

## 2. 計画策定の目的

---

本計画は、慈恩寺の歴史的財産を守りながら、観光資源としての活用、産業の発展、豊かな地域づくりに資するため、慈恩寺を基点とした地域の文化、観光、産業振興の総合計画となる基本計画と事業の推進に向けた事業プログラムを定めたものです。

## 3. 計画の期間

---

計画の期間は、目的の早期実現を目指すとともに、国史跡指定との調整、その後の保存管理計画及び整備計画と整合をとるため、平成 26 年度から 5 箇年の平成 30 年度とします。

国史跡の保全及び活用の方向性を定めるときは、計画期間を含め見直しを行います。

## 第 1 章 慈恩寺の観光の現状と課題



# 1. 慈恩寺の観光の現状

## 1.1 慈恩寺地区の地域特性

### 現状

#### 【位置】

- 慈恩寺地区は、山形県のほぼ中央に位置する寒河江市にあって、南の山形、東の天童、西の月山をはじめ山形県内の観光地にほど近い位置にあります。
- 寒河江市の北部に広がる葉山の南麓に位置し、本市の観光拠点となっているチェリーランドから3km程度の距離に位置します。

#### 【人口】

- 慈恩寺地区の人口は537人、世帯は145世帯であり、過去5カ年でそれぞれ5%、4%減少しており、寒河江市全体と比較して、減少率がやや高い状況にあります。
- 慈恩寺地区は、寒河江市全体と比較し高齢化率が約10ポイント高い状況にあります。

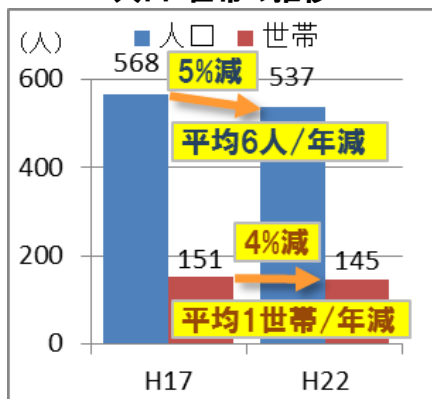
#### 【観光客入込み】

- 寒河江市全体の観光客の入込数は、近年5年間で2割程減少しています。
- そのうち、慈恩寺への来訪者は約16万人で、近年5年間で5%減少しています。

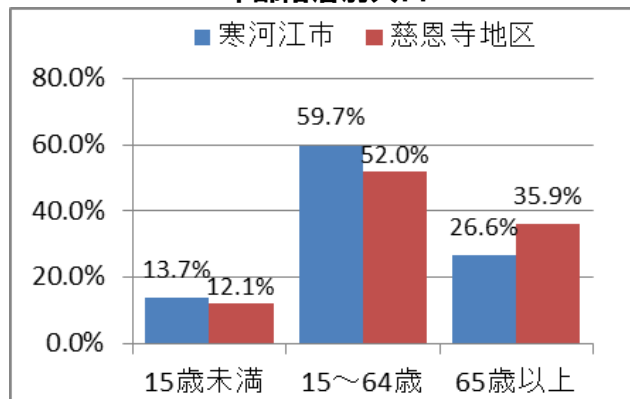
### 問題点

- 人口減少、高齢化により、地域の活力が低下しています。
- 観光客の入込みが緩やかに減少し、観光地としての活力も低下しています。
- 地域内に空き屋が目立つようになっています。

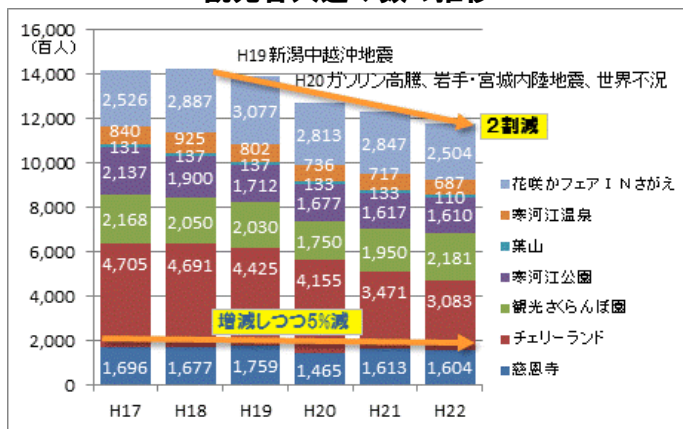
人口・世帯の推移



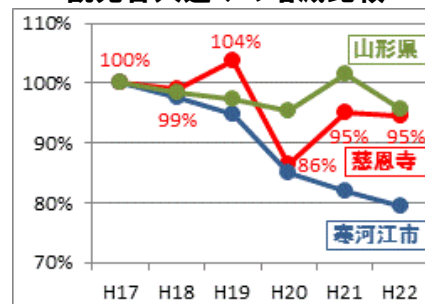
年齢階層別人口



観光客入込み数の推移



観光客入込みの増減比較





## 1.2 慈恩寺地区の資源・環境の状況

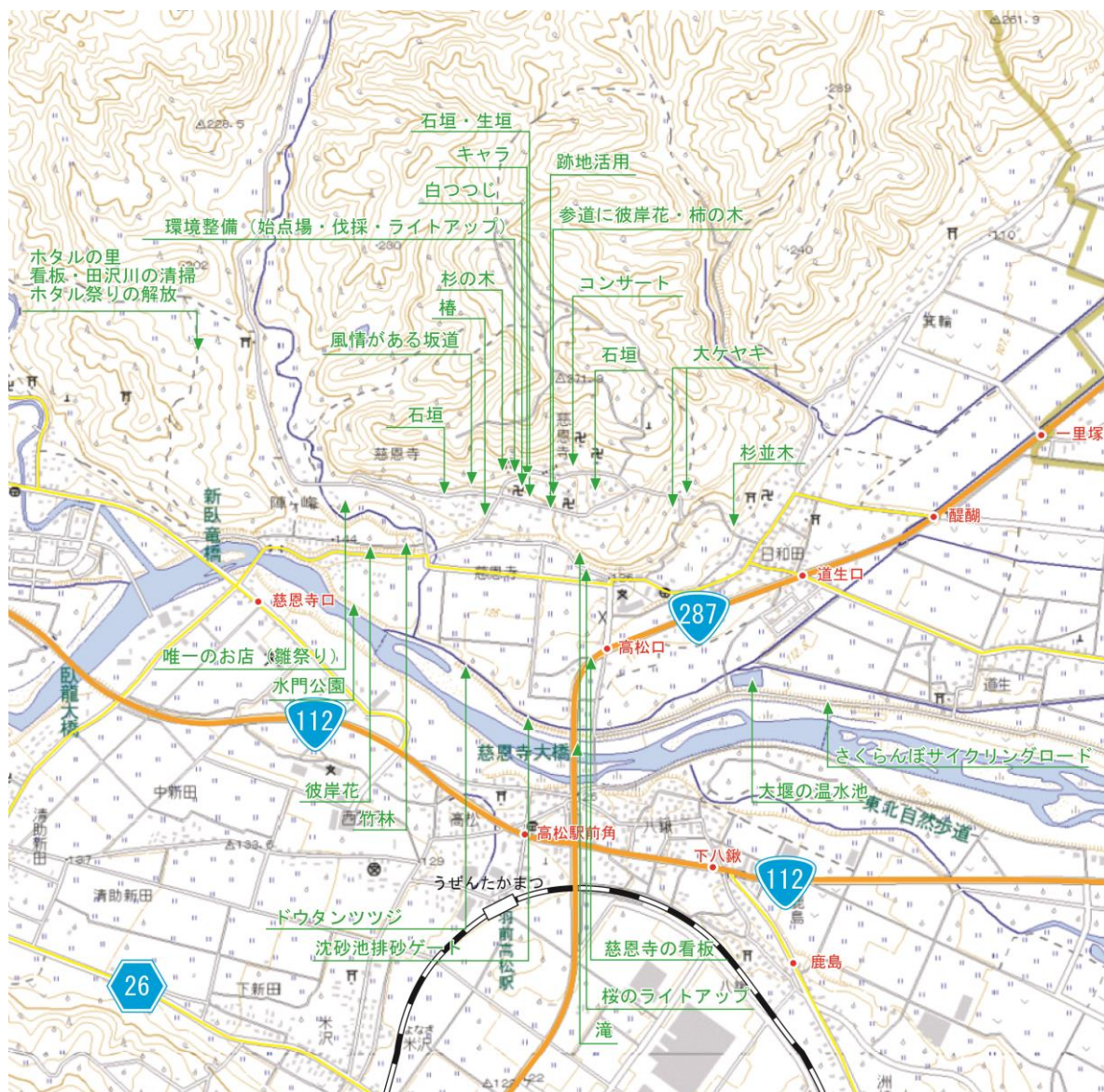
### 現状

- 奈良時代からの古い歴史をもつ一山寺院であり、国・県の重要文化財等が豊富です。
- ホタルやハス、キャラやツツジ、八重桜、ヒガンバナ、貴重な山野草等の自然の景観資源が多く分布しています。
- 石垣や風情ある坂道等、歴史・文化の薫る景観要素も多くみられます。

### 問題点

- 歴史的に重要な文化財を有していますが、知名度が低い状況です。
- 文化財の保存を所有者に依存しており、保存状態が良くないものがみられます。
- 資源の見せ方が魅力を感じ難い方法になっています。
- 文化財以外に地域に根付いている民俗文化が埋もれています。

### 慈恩寺地区の主な資源・環境



### 1.3 慈恩寺地区の施設整備状況

#### 現 状

- 本山慈恩寺境内の寺務所で軽食や土産品を扱っているほか、慈恩寺地区とその周辺に民間のひなの小道美術館や飲食施設が数少なく点在しています。
- 地域活性化センターは地域のまちづくりの拠点となっています。
- 醍醐地区景観・まちづくり協議会の取組により、日和田地区に慈恩寺蓮池が再生されています
- 下と上の駐車場と本山慈恩寺境内の寺務所に公衆トイレがあります。

#### 問題点

- 観光客が立ち寄りたくなる観光施設や土産品店、飲食店が少ない状況です。
- 地区内には宿泊施設がありません。
- 下の駐車場の公衆トイレは水洗化されてなく衛生上の問題があります。
- 要所に案内板や看板が設置されていますが、観光客の円滑な誘導には全体的に不足しており、わかりにくいものもあります。

#### 慈恩寺地区の主な観光施設



## 1.4 慈恩寺地区の交通状況

### 現状

- 自動車での来訪者に対しては、上と下の駐車場で対応していますが、通常は上の駐車場に誘導しています。
- 最寄り駅はJR高松駅で慈恩寺まで約2kmの距離があります。
- 国道112号線、287号線にバス停があります。

### 問題点

- メインの駐車場となっている上の駐車場から慈恩寺境内までは近いことから、参道を歩いて参拝する観光客が少ない状況です。
- 仁王門の門前のスペースに駐車する車両や門前を通過する車両があり、静寂な雰囲気と安全性が損なわれています。
- 普通車が通行不可能な仁王堂坂や車両のすれ違いが困難な鳥居坂を通行する車両があり危険です。
- 高齢の観光客など高低差や坂が移動の抵抗になります。
- 最寄りの羽前高松駅からは気軽に立ち寄るには若干距離が遠い状況です。
- バスは本数が少なく、現在の運行では観光客には利便性が低い状況です。
- 冬季は積雪状況により十分に除雪が行われない区間があり、上の駐車場まで到達することが困難な場合があります。

## 1.5 慈恩寺地区の地域運営状況

### 現状

- 醍醐地区景観・まちづくり協議会により、慈恩寺地区の歴史と文化の薫る調和のとれた街並み形成に向けた取り組みが進められています。
- まちづくりに関する活動団体が複数存在し、ハスの再生やホテルの愛護活動等まちづくりの機運がみられます。

### 問題点

- 住民や町会、商工関係団体、観光関係団体、農業関係団体、行政が協働・連携し合える仕組みがありません。
- 地区の人口減少・高齢化が進んでおり、次世代の観光まちづくりを担う人材が不足しています。
- 地域の豊かで貴重な資源を活かした地域づくりの活動が十分ではありません。

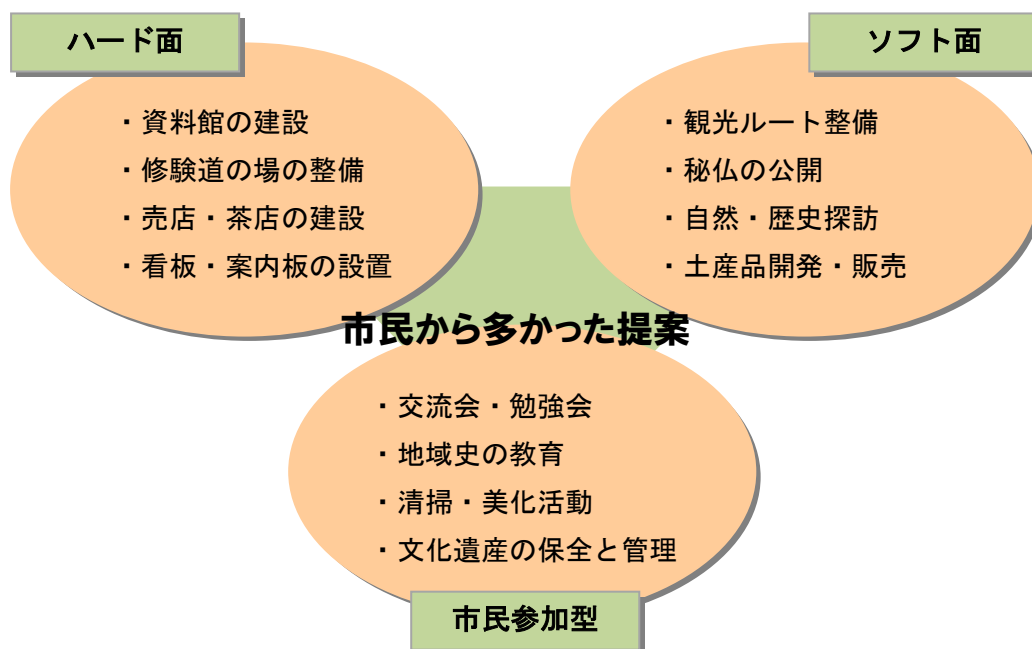
## 2. 市民からの提案

慈恩寺「悠久の魅力」向上に向けて、市民に、「あなた自身ができる行動」「誰かと一緒にならやれること」「こういうことがやれたらいいなと思うこと、やってもらいたいと思うこと」について提案を募りました。また、それらの行動について、実施期間（3年間、5年間、10年間）についても提案してもらいました。

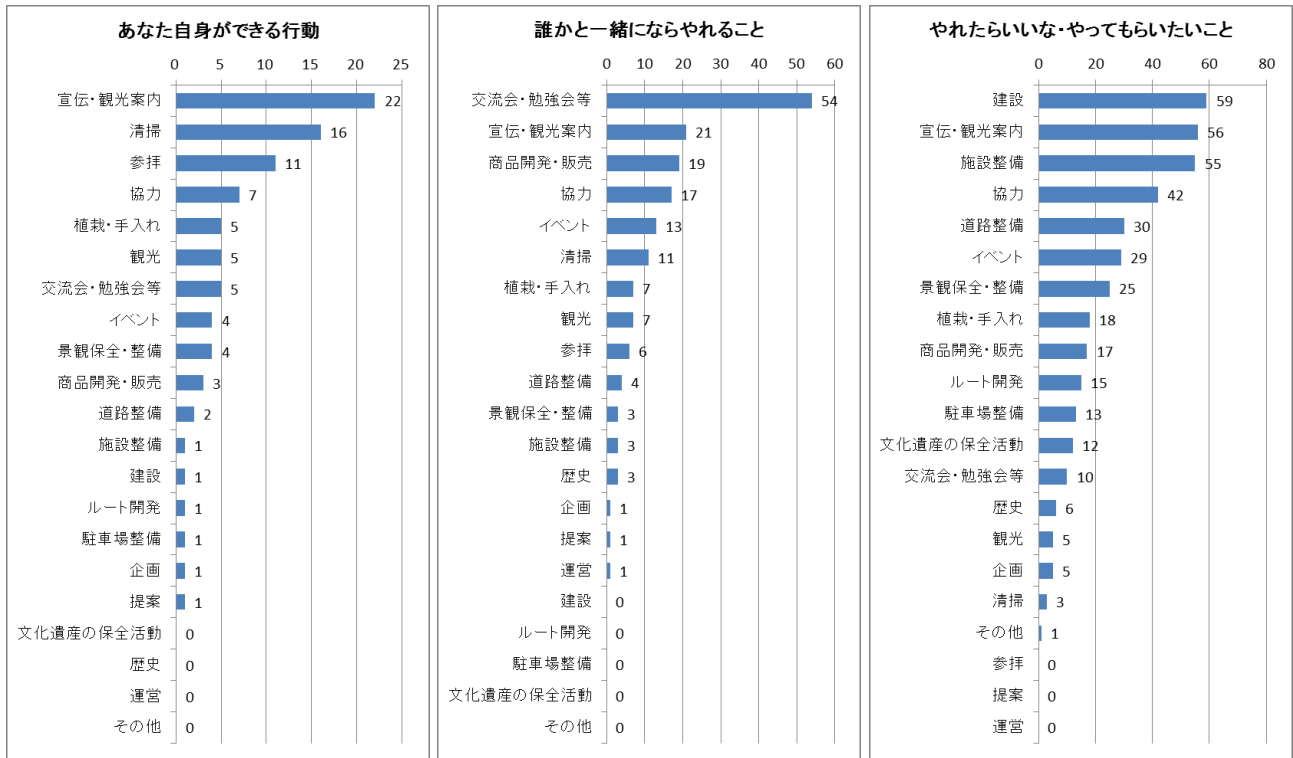
74名の市民のみなさんから提案がありました。

### 市民からの提案の概要

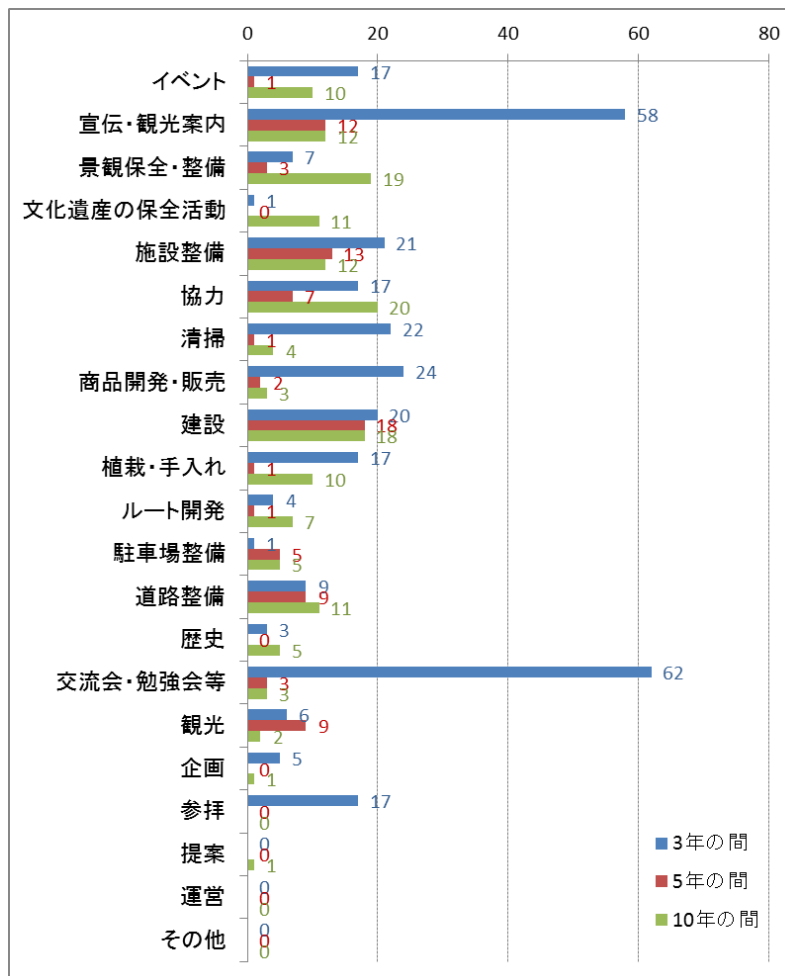
- 資料館や修験道の場など資源を活かした施設や売店・案内板などの観光地としての利便施設などのハード面とともに、資源を活かした観光ルート、イベント、ツアー、土産品開発などのソフト面の提案がありました。
- 交流会や勉強会、清掃・美化活動など市民参加型の提案も多くありました。
- 宣伝や観光案内、清掃・美化活動、イベント、交流会や勉強会などは、市民が自らできる、もしくは、誰かと一緒にならやれるとの意見が多くありました。
- ソフト面の多くは早期（3年の間）に実施したいという意見が多くありましたが、施設整備についても比較的早期に実施したいという意見もありました。



### 参加意向別にみた市民から多かつた提案



### 提案内容の実施時期についての意見



### 3. 慈恩寺の観光の課題

#### 資源・環境に関する課題

貴重な文化財の保全・復元・活用・演出をはじめ、地域の自然環境や民俗文化、その他資源の保全・活用を通じた地域総体としての持続的な魅力の向上が必要

- 数多い文化財を、適切に保全・復元することが必要
- 貴重で豊富な文化財を観光資源として活用し、来訪者に魅力的に提供する工夫や演出が必要
- 郷土芸能や郷土料理、昔話、風物詩など地域の民俗文化を観光資源として活用することが必要
- 開山以来保たれてきた、山・川・田畑・寺院・集落の美しい地勢バランスを維持しつつ、自然環境と景観、地域文化の保全・形成により地域総体の魅力を向上させることが必要
- 資源の価値を明らかにしつつ、観光客の嗜好や誘致力に考慮して資源を活用することが必要
- 資源の保全・活用のための体制づくりと財源確保が必要

#### 施設整備に関する課題

観光の「見る」「食べる」「買う」「体験する」「憩う」行動に対応する魅力施設と利便性と快適性、安全性の高い基盤施設の整備が必要

- 貴重な文化財を状態よく保存・復元し、観光客等により良く魅せるための見学施設が必要
- 観光の基本行動である「見る」「食べる」「買う」「体験する」「憩う」ための施設整備が必要
- 地域に点在する資源を観光客が楽しみながら、迷うことなく回遊できる歩行環境の整備と案内の充実が必要
- 観光客にとって利便性と快適性、そして安全性の高い基盤施設整備が必要

## 交通に関する課題

交通弱者などにも配慮しつつまち歩きの回遊性を高める車と歩行者、公共交通の交通ネットワークの形成が必要

- 地域の回遊性を高めるために適する駐車場の配置や歩行空間のネットワークの形成が必要
- 道路幅が狭く坂が多い道路事情に対応し、冬期積雪時にも配慮するなど、観光客が安全に回遊し、資源や環境に悪影響を及ぼさない車の通行ルールが必要
- 公共交通での来訪者に対応したサービスが必要
- 高齢者など移動弱者に配慮した安全で負担の少ない移動環境が必要

## 地域運営に関する課題

「慈恩寺」ブランドの確立・発信や積極的な宣伝・PR、商品の企画・販売の展開のため、関係団体・機関、住民参加による持続的な地域経営の仕組みづくり・体制づくりが必要

- 自立した地域経営のため、公的支援のほか、自ら観光収入を得るための仕組みが必要
- 慈恩寺地区の事業者や関係者による自助力とともに、それを支える醍醐地域が一体となり、共に働き、連携し、心をひとつにしてまちづくりに取り組むことが必要
- 地域住民が誇りと楽しみを持って、観光まちづくりへ主体的に参加するとともに、観光客におもてなしの心で接することが必要
- 慈恩寺の魅力や地域の個性や特徴を発信するために、地域資源を活用して、代表資源である「慈恩寺」のブランド化を進めることが必要
- 積極的に観光客を誘客するためのイベント、ツアーやPRの充実が必要
- 誘客のための観光商品の企画・販売や周辺観光地との連携が必要

## 第 2 章 基本理念と全体像





## 悠久の光を磨き、輝き続ける慈恩寺の観光まちづくり

「悠久」とは、「果てしなく長く続くこと」であり、それは過去からの営みとともに、未来へ長く続くことを意味します。

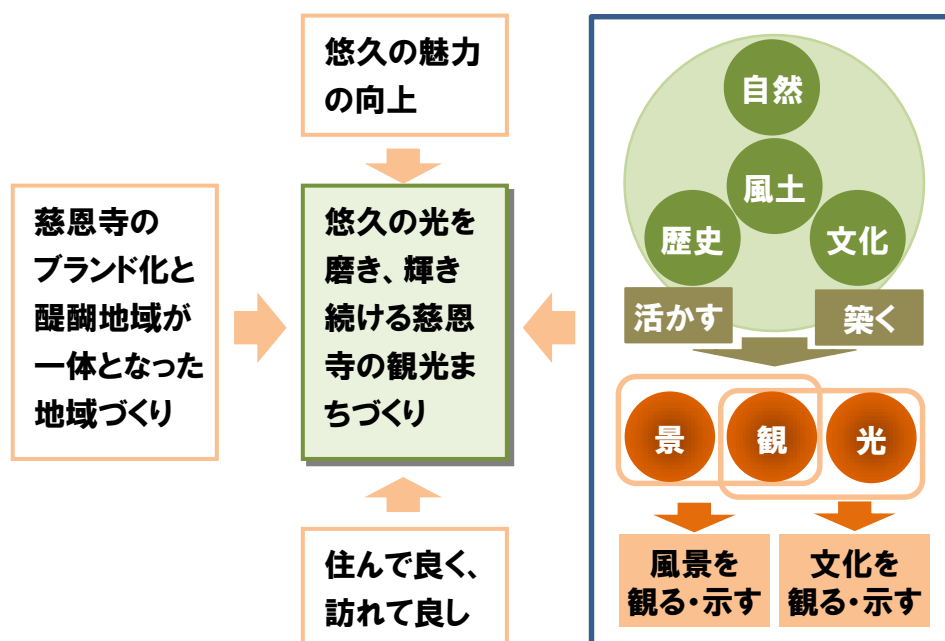
慈恩寺地区は古く長い歴史の中で築き上げられてきた貴重な資源や文化を有しますが、これまで積極的な観光開発が行われなかったこともあり、資源や文化を大きく損なうことなく、地域の方々の手入れにより今に至っています。しかし、人口減少、少子高齢化など、地域の活力は低下しており、このままでは地域の衰退とともに資源や文化が損なわれ、未来へその文化を継承できなくなる恐れもあります。

このことは、ひとり地域の問題としてとらえることなく、寒河江市全体の課題として考えることが重要です。

一方、「観光」とは、「国の光を見る」転じて「国の光を示す」ものであり、人と人の交流や住民の社会参加等により地域の活力を増すと同時に、まちづくり活動等の継続に必要な費用を観光消費から補うことができる総合産業でもあります。慈恩寺地区の「自然」「歴史」「文化」からなる「風土」を活かし、新たに築きあげ、「光」と「景（かげ・かたち）」を外に示していくことを目指します。

「悠久の光を磨き、輝き続ける慈恩寺の観光まちづくり」とは、活かしきれていない慈恩寺地区とその周辺地域の過去の歴史的な資源や文化を、地域住民や関係者が磨き、未来に向けて輝き続ける持続的な地域活性化と寒河江市の発展に結び付けることです。そのための「住んで良く、訪れてよい」観光まちづくりと、慈恩寺のブランド化を市と地域が一体となって達成していくことを意味します。

### 慈恩寺「悠久の魅力」向上のコンセプト



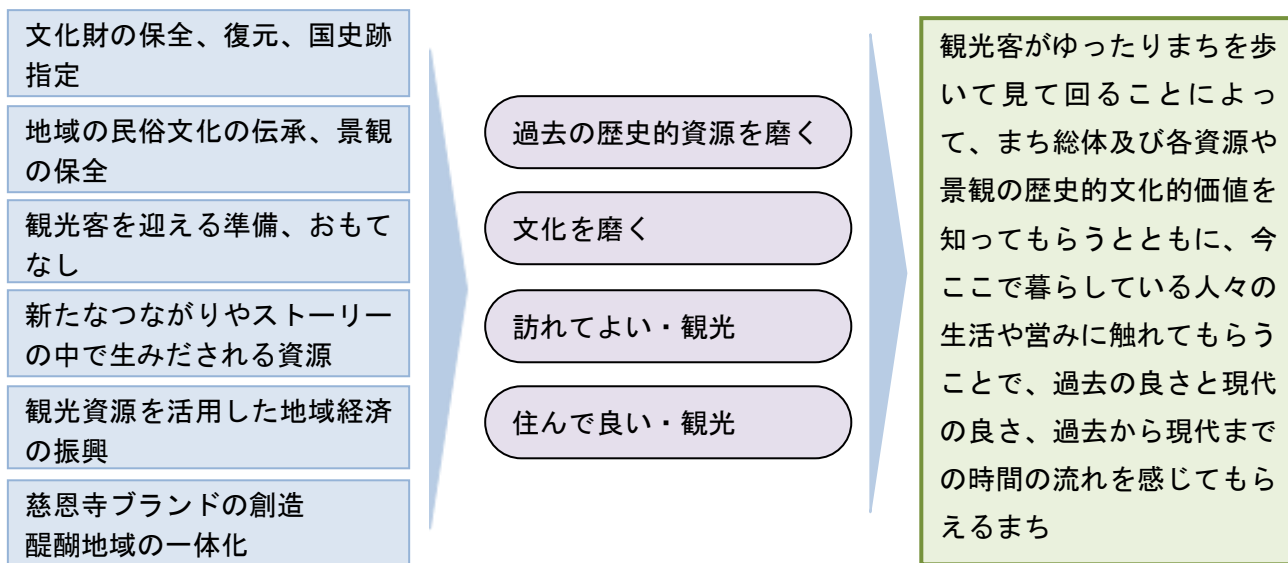
## 2. 慈恩寺地「悠久の魅力」向上基本計画における基本方針

6つの基本方針に基づいて慈恩寺「悠久の魅力」向上に取り組みます。

- ①観光客の来訪によってもたらされる経済効果によって持続的な観光地経営ができる仕組みづくり、まちづくりを目指します
- ②地域の自助努力と国史跡整備に係る支援を受けながら、慈恩寺の歴史文化、それを取り巻く自然、慈恩寺を中心に形成されたまちの民俗文化などに関する「慈恩寺学」を築き上げるとともに、地域資源を保全・活用します
- ③貴重な資源の魅力的な演出や地域の環境と景観の保全・形成により、地域総体が悠久の魅力を示すことを目指します
- ④資源や地域の特性から導き出される個性を大切にしつつ、観光ニーズを敏感に捉えておもてなしの心で観光客に対応し、観光客が再訪する観光地を目指します
- ⑤慈恩寺観光の魅力の発信により誘客しつつ、観光客が安心かつ快適に観光できる交通や情報・案内等の受入環境を向上します
- ⑥寒河江市の観光の拠点性を高めるとともに、周辺観光地や市内観光地との連携を図り、広域的な誘致力を有する観光地を目指します

### 3. 将来像

コンセプトと基本方針に基づいて、以下のような将来像を目指します。



## 悠久の時間が感じられる慈恩寺

— 過去と現代が共存するまち歩きから始まる観光地「慈恩寺」 —

現在、慈恩寺を訪れる観光客は、上の駐車場に車を止めて、本堂を参拝して三重塔を眺めて1時間も留まらずに帰ってしまいます。仮に、まちを歩いたとしても、雰囲気のある院や坊、石積み、鮮やかな花に目をやる観光客はいても、その歴史的な魅力に気づく観光客は少ない状況にあります。

慈恩寺「悠久の魅力」向上においては、まちに埋もれている資源を掘り起こして磨く、それを観光客がゆったりまちを歩いて見て回ることによって、まち総体及び各資源や景観の歴史的文化的価値を知ってもらうとともに、今ここで暮らしている人々の生活や営みに触れてもらうことで、過去の良さと現代の良さ、過去から現代までの時間の流れを感じてもらえるまちとします。

例えば、過去の素材である「3ヵ院や17坊の宝物、庭園」、「慈恩寺蓮」、「慈恩寺十景」、「六地藏」などの価値を知ってもらうとともに、それらを現代社会の中で、地域が如何に大切にしながら、また、工夫しながら活用し共存しているかを示します。

それらを示す場所が、まちに点在しており、それを観光客が周遊し訪れることにより、観光客と地域との接点生まれ、観光客の滞留性も高まります。

これにあわせて、観光客の飲食や休憩、土産品の買い物、写真撮影などの基本的な観光行動に対応する施設整備を進め、「見る」「食べる」「買う」「体験する」「憩う」ことができる観光地づくりを目指します。

慈恩寺地区は、観光地であるとともに住民の生活の場でもあります。穏やかな慈恩寺地区の生活環境を損ねることなく、観光客にとってもゆったりとした時間が味わえる観光地づくりを目指します。

## 観光地「慈恩寺」のイメージ

慈恩寺の観光は、下の駐車場からはじまります。

観光客は、活性化センターの展示コーナーで慈恩寺の概要を知り、まち歩きマップとガイドブックを手にしめます。

トイレで用を済ませて、案内板で場所を確認して、仁王堂坂から悠久の里・慈恩寺に向かいます。



慈恩寺までの道は、昔の風景の復元と現在の雰囲気を中心に趣のある道となっています。

道端には、あじさいや彼岸花など四季折々の花が咲き、石積みや草木は観光客の心を和ませます。

まち歩きマップとガイドブックに加えて、沿道の案内サインを辿っていくと迷わずに歩けます。



もちろん観光客は慈恩寺境内を目指しますが、3ヵ院と坊では、趣のある庭園が公開されており、観光客は庭園で記念写真を撮ったりし、慈恩寺の歴史的景観を堪能することができます。

庭園は四季によって姿を変え、季節ごとに観光客が再来します。



坂が多いまち歩き観光地・慈恩寺では、ところどころに休憩スポットがあります。また、本堂の裏から9つのお堂跡の解説板を見ながら散策し、山王台公園などのスポットを巡ると、八千代公園では村山盆地一円の眺望が楽しめます。

休憩スポットは、和風の趣で慈恩寺の景観素材である石積みや花で修景されています。茶菓のサービスを受けることができ、観光客はしばし慈恩寺の歴史的空間で憩います。



まち歩きでは、慈恩寺の文化財の保全・復元・研究と文化を紹介する文化ガイドダンス施設や慈恩寺蓮を使ったブレスレットなどの土産品や醍醐のごつつおを味わえるお店があり、観光客は、地元の方との話を楽しみながら、慈恩寺地区の今の生活や文化を知ることができます。

# 4. 計画の全体像

## 課題

**資源**

- 数多い文化財を、適切に保全・復元することが必要
- 貴重で豊富な文化財を観光資源として活用し、来訪者に魅力的に提供する工夫や演出が必要
- 郷土芸能や郷土料理、昔話、風物詩など地域の民俗文化を観光資源として活用することが必要
- 開山以来保たれてきた、山・川・田畑・寺院・集落の美しい地勢バランスを維持しつつ、自然環境と景観、地域文化の保全・形成により地域総体の魅力を向上させることが必要
- 資源の価値を明らかにしつつ、観光客の嗜好や誘致力に考慮して資源を活用することが必要
- 資源の保全・活用のための体制づくりと財源確保が必要

**施設**

- 貴重な文化財を状態よく保存・復元し、観光客等により良く魅せるための見学施設が必要
- 観光の基本行動である「見る」「食べる」「買う」「体験する」「憩う」ための施設整備が必要
- 地域に点在する資源を観光客が楽しみながら、迷うことなく回遊できる歩行環境の整備と案内の充実が必要
- 観光客にとって利便性と快適性、そして安全性の高い基盤施設整備が必要

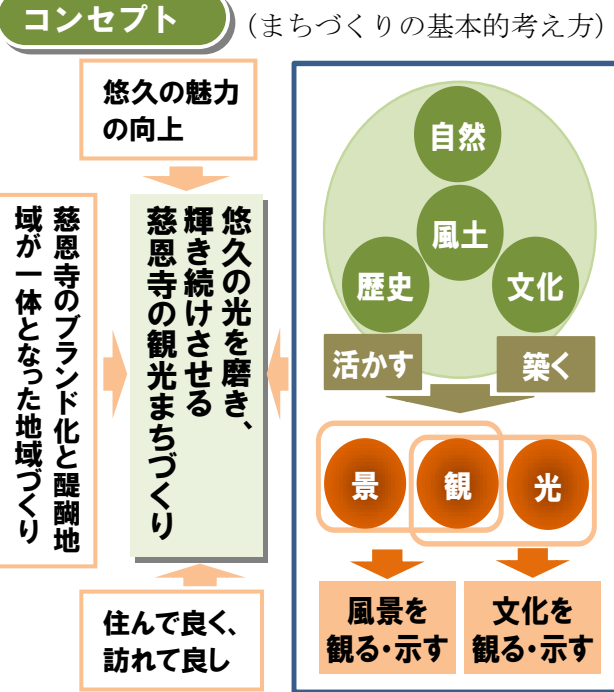
**交通**

- 地域の回遊性を高めるために適する駐車場の配置や歩行空間のネットワークの形成が必要
- 道路幅が狭く坂が多い道路事情に対応し、冬期積雪時にも配慮し、観光客が安全に回遊し、資源や環境に悪影響を及ぼさない車の通行ルールが必要
- 公共交通での来訪者に対応したサービスが必要
- 高齢者など移動弱者に配慮した安全で負担の少ない移動環境が必要

**運営**

- 自立した地域経営のため、公的支援のほか、自ら観光収入を得るための仕組みが必要
- 慈恩寺地区の事業者や関係者による自働力とともに、それを支える醍醐地域が一体となり、共に働き、連携し、心をひとつにしてまちづくりに取り組むことが必要
- 地域住民が誇りと楽しみを持って、観光まちづくりへ主体的に参加するとともに、観光客におもてなしの心で接することにより、地域経営を支えることが必要
- 慈恩寺の魅力と地域の個性や特長を発信するために、寒河江市と醍醐地域が一体となって、代表資源である「慈恩寺」のブランド化を進めることが必要
- 慈恩寺の魅力を発信し、誘客するためのイベント、ツアーやPRの充実が必要
- 誘客のための観光商品の企画・販売や周辺観光地との連携が必要

## コンセプト・方針・将来像



## 方針

- ①観光客の来訪によってもたらされる経済効果によって持続的な観光地経営ができる仕組み作り、まちづくりを目指す
- ②地域の自助努力と国史跡整備に係る支援を受けながら、慈恩寺の歴史文化、それを取り巻く自然、慈恩寺を中心に形成されたまちの民俗文化などに関する「慈恩寺学」を築き上げるとともに、地域資源を保全・活用する
- ③貴重な資源の魅力的な演出や地域の環境と景観の保全・形成により、地域総体が悠久の魅力を示すことを目指す
- ④資源や地域の特性から導き出される個性を大切にしつつ、観光・ニーズを敏感に捉えておもてなしの心で観光客に対応し、観光客が再訪する観光地を目指す
- ⑤慈恩寺観光の魅力の発信により誘客しつつ、観光客が安心かつ快適に観光できる交通や情報・案内等の受入環境の向上を目指す
- ⑥寒河江市の観光の拠点性を高めるとともに、周辺観光地や市内観光地との連携を図り、広域的な誘致力を有する観光地を目指す

## 将来像

**悠久の時が感じられる慈恩寺**  
過去と現代が共存する  
まち歩きから始まる観光地「慈恩寺」

## 施策

国史跡指定を目指している  
史跡の保全・活用

文化財の保全と魅力的な活用のための施設整備

観光の楽しみと回遊性を高めるための施設整備

テーマ性のある観光コースと資源の環境整備

快適で安全な移動などのための基盤施設の整備

資源の魅力を伝え、安心して回遊してもらうための情報提供

観光客を誘客し、地域に効果をもたらすための情報発信と仕組み

地域資源を継承し、地域経営を持続するための体制強化

## 事業

国史跡保存管理計画、整備計画による

国史跡を目指している区域 ○:全部、△:一部、空欄:区域外・未定

1. 慈恩寺悠久の文化ガイダンス施設の整備	
2. 活性化センターの活用	
3. 本堂境内の環境整備	○
4. 3カ院と坊の庭園・資料の活用	○
5. 慈恩寺蓮の蓮池の復元	○
6. 観光売店への支援	
7. 休憩スポットの設置	○
8. 仁王堂坂展望休憩所の整備	
9. まちかど休憩花壇の整備	△
10. 主要観光コースの園路・修景整備	△
11. 既存観光施設の活用	
12. 調査に基づいた修験の道・城館址の整備	○
13. 新慈恩寺十景の設定と環境整備	△
14. 六地藏や醍醐のとんと昔話の環境整備	△
15. 寒河江川沿岸の資源の環境整備	
16. 田沢川ホテルの里の保全継続と環境整備	
17. 慈恩寺を支えてきた地域の文化財の活用	
18. 門前の通行規制などアクセスルールの設定・周知	△
19. 駐車場の環境整備	
20. 下の駐車場脇の公衆トイレの再整備	
21. サイクリングコース、レンタサイクルの拡充整備	
22. 慈恩寺ガイドブックの作成	-
23. 散策用まち歩きマップの作成	-
24. 統一デザインで系統的な案内サインの整備	△
25. ボランティアガイドの育成	-
26. 若返りツアーなど観光商品の企画・販売	-
27. 観光地としての慈恩寺のPR・情報発信の強化	-
28. 市内宿泊施設とのタイアップと広域的な観光地との連携	-
29. 既存行祭事と新たなイベントの開催と情報発信	-
30. 料理・土産品の開発・商品化	-
31. 地域での「慈恩寺学」の探求と普及	-
32. 地域運営体制の強化と人材育成	-

※   ハード整備を伴う事業、   ソフト事業

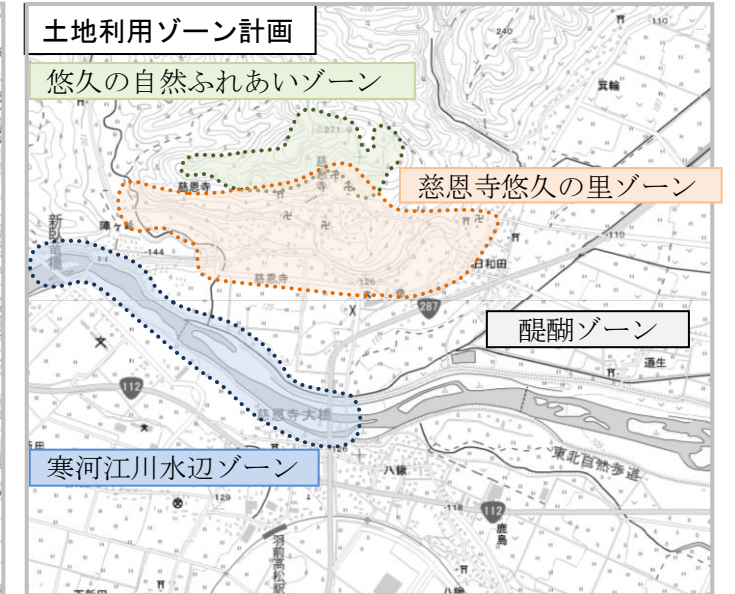
土地利用・交通計画

【土地利用計画】

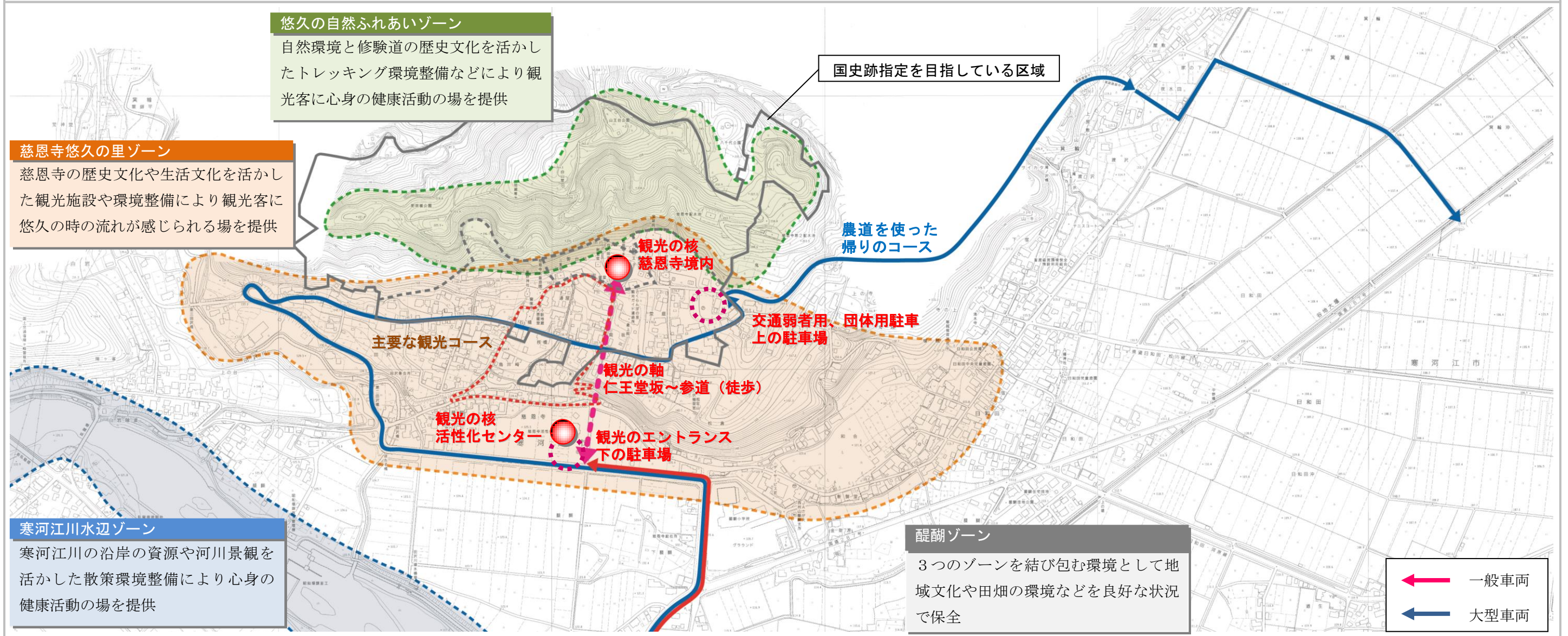
- 文化財や集落景観を活かした「慈恩寺悠久の里ゾーン」と背後の修験道の場を活かした「悠久の自然ふれあいゾーン」、寒河江川沿いの資源や河川景観を活かした「寒河江川水辺ゾーン」で構成し、その他の周辺エリアは「醍醐ゾーン」として位置づける
- 慈恩寺境内（目的地）と活性化センター（エントランス）を観光の核とし、それらを結びつける参道を観光コースの軸とする

【交通計画】

- 下の駐車場をメインの駐車場、上の駐車場を団体用や移動弱者用の駐車場として活用し、一般観光客は下の駐車場から歩くことを基本とし、地域内を回遊するように歩行空間を整備する
- 門前への駐車を抑制し、上の駐車場利用者は、農道を使って帰路につくように誘導する
- 参道、鳥居坂、既存の観光施設、下道を結ぶルートを観光客が回遊する主要な観光コースとして路面や沿道の景観の整備を行う
- 高松駅、寒河江駅からの電動アシスト付きレンタサイクルや市内サイクリングロードの整備、歩道整備で公共交通利用者に対応する



慈恩寺地区全体計画 (Saienji Area Overall Plan)



慈恩寺悠久の里ゾーンと悠久の自然ふれあいゾーンの整備計画（イメージ）

悠久の自然ふれあいゾーンの整備計画（イメージ）

- 慈恩寺での修行と連携し修験道の歴史文化を学びながら心身の鍛錬ができるトレッキングコースの整備
- 公園や資源周辺の修景整備
- 歩道の整備と資源や修験道の解説サインの整備
- 9つのお堂の解説板の設置（弘法大師堂、経堂、天神堂、行者堂、大黒堂、開山道、白山堂、新山堂、山王堂）
- 八千代公園や山王台からの夜景の活用

慈恩寺悠久の里ゾーンの整備計画（イメージ）

- 国史跡指定等による文化財の保全
- 文化財を展示し観光の核となる慈恩寺悠久の文化ガイダンス施設を整備
- 活性化センターを活用して慈恩寺の生活文化を紹介
- 3ヵ院やまちかどの要所魅力的な花壇を整備
- 慈恩寺蓮の蓮池の復元
- 3ヵ院の庭園と坊のまちかど資料館では各院坊所有の文化財を庭先などにコーナーを設けて展示しながら、観光客に茶菓などを提供
- 文化ガイダンス施設周辺で飲食、土産品などを提供する店舗への支援

事業の対象箇所

※番号は前頁表内の番号に対応

悠久の自然ふれあいゾーン

自然環境と修験道の歴史文化を活かしたトレッキング環境整備などにより観光客に心身の健康活動の場を提供

慈恩寺悠久の里ゾーン

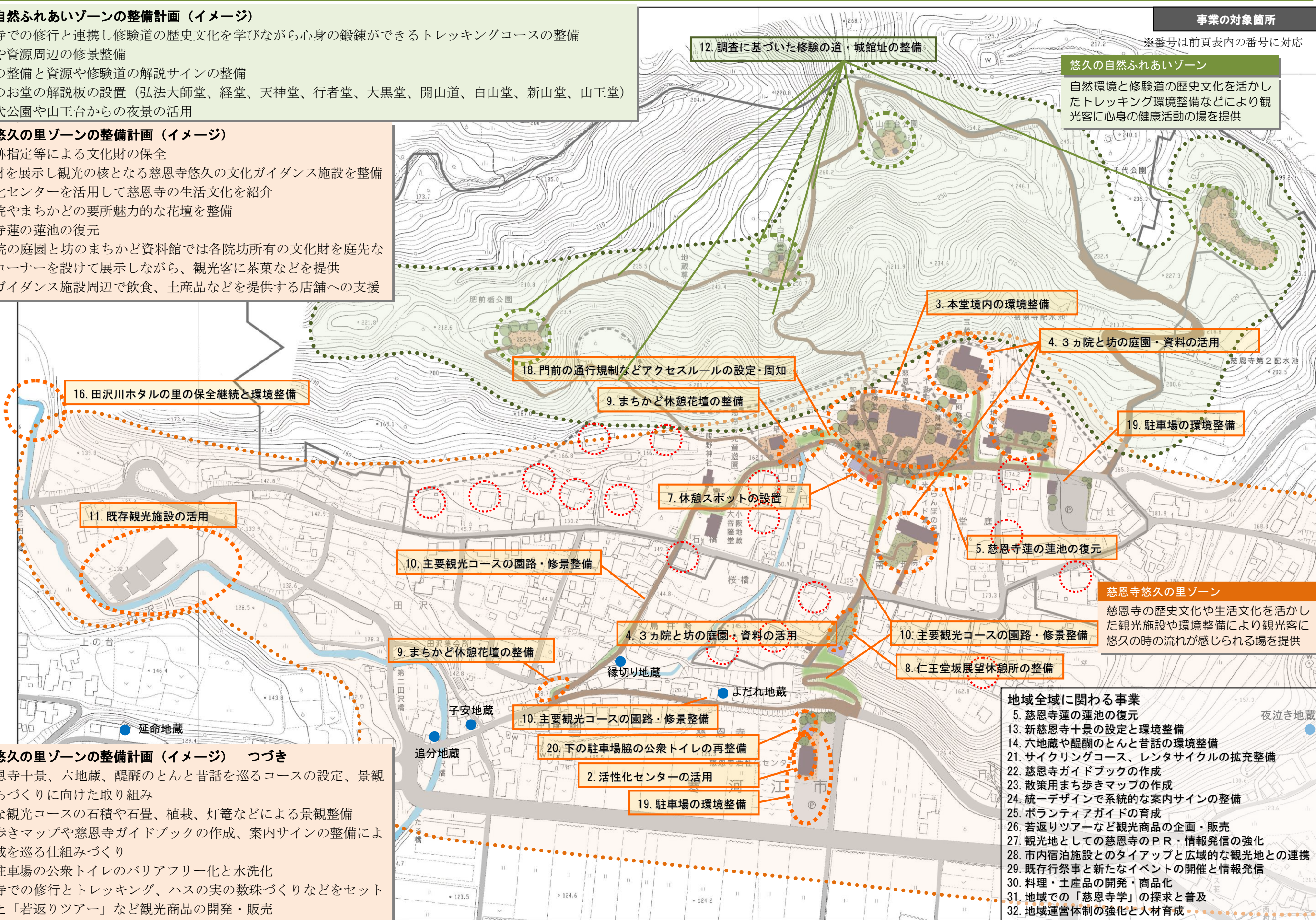
慈恩寺の歴史文化や生活文化を活かした観光施設や環境整備により観光客に悠久の時の流れが感じられる場を提供

地域全域に関わる事業

5. 慈恩寺蓮の蓮池の復元
13. 新慈恩寺十景の設定と環境整備
14. 六地藏や醍醐のとんと昔話の環境整備
21. サイクリングコース、レンタサイクルの拡充整備
22. 慈恩寺ガイドブックの作成
23. 散策用まち歩きマップの作成
24. 統一デザインで体系的な案内サインの整備
25. ボランティアガイドの育成
26. 若返りツアーなど観光商品の企画・販売
27. 観光地としての慈恩寺のPR・情報発信の強化
28. 市内宿泊施設とのタイアップと広域的な観光地との連携
29. 既存行祭事と新たなイベントの開催と情報発信
30. 料理・土産品の開発・商品化
31. 地域での「慈恩寺学」の探求と普及
32. 地域運営体制の強化と人材育成

慈恩寺悠久の里ゾーンの整備計画（イメージ） つづき

- 新慈恩寺十景、六地藏、醍醐のとんと昔話を巡るコースの設定、景観のまちづくりに向けた取り組み
- 主要な観光コースの石積や石畳、植栽、灯籠などによる景観整備
- まち歩きマップや慈恩寺ガイドブックの作成、案内サインの整備により地域を巡る仕組みづくり
- 下の駐車場の公衆トイレのバリアフリー化と水洗化
- 慈恩寺での修行とトレッキング、ハスの実の数珠づくりなどをセット化した「若返りツアー」など観光商品の開発・販売



事業の概要

施策	事業名	事業箇所	事業の狙い（期待する事業効果）	事業概要（事業イメージ）※事業は全て史跡の保存を図りながら実施する
文化財の保全と魅力的な活用のための施設整備	1.慈恩寺悠久の文化ガイダンス施設の整備	国史跡予定区域外の民有地又は市営駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恩寺観光の核施設として全観光客を集客</li> <li>・文化財の保全・復元・研究（慈恩寺学の探求・普及）</li> <li>・各種資源や地域形成の展示・解説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設候補地を、市営駐車場とする場合は、一定の駐車場の確保、あるいは拡張を行う</li> <li>・現状のままでは損傷する可能性がある文化財などを良好な状態で保存する倉庫兼一時保管用倉庫</li> <li>・体験型の展示方法などによる慈恩寺の開山からの歴史、文化財などを展示・解説</li> </ul>
	2.活性化センターの活用	活性化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催期間中の土日休日、慈恩寺観光のエントランス施設として全観光客を集客</li> <li>・下の駐車場の利用を促進し地域全体の利用を高める</li> <li>・慈恩寺の民俗文化を展示・解説</li> <li>・地域住民が集う慈恩寺のまちづくり拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催期間中の土日休日開館</li> <li>・開館期間、慈恩寺観光の情報案内センターとして慈恩寺観光を案内</li> <li>・ホールを使って地域や民俗文化、まちづくりの取組などを紹介</li> <li>・調理室などを使った料理や土産品の開発など、まちづくり活動の場として活用</li> <li>・活性化センターの機能補完のため、観光客が休憩し、住民が接客する仮設店舗の設置</li> </ul>
	3.本堂境内の環境整備	本堂境内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本堂境内の悠久の魅力をより高める環境の質の向上</li> <li>・損傷箇所の保全・復元</li> <li>・休憩所としての寺務所のセンスアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本堂や周辺の損傷箇所の保存計画に基づく修復</li> <li>・門前からの本堂へのアクセスを誘導</li> <li>・境内全体の案内や各お堂・仏像の解説のサイン整備</li> <li>・寺務所で提供する飲食空間の再整備とサービスの向上</li> </ul>
	4.3ヵ院と坊の庭園の整備	3ヵ院 17坊のうち可能な坊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヵ院の歴史、庭、宝物、坊などの観光資源としての活用</li> <li>・庭園巡りやまち歩きを誘発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヵ院の既存の庭を復元、修復し、より魅力的な庭園に修景</li> <li>・庭園を眺めながら休憩でき、可能であれば、茶菓の提供や3ヵ院の歴史や宝物を紹介</li> <li>・季節によって様相を変える庭園を背景にした写真撮影スポット紹介</li> <li>・庭先で坊の歴史や宝物の紹介と休憩所や茶菓の提供</li> <li>・セキュリティへの配慮</li> </ul>
	5.慈恩寺蓮の蓮池の復元	慈恩寺本堂周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源の復元と景観整備による魅力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恩寺蓮の蓮池を復元整備</li> </ul>
観光の楽しみと回遊性を高めるための施設整備	6.観光売店への支援	文化ガイダンス施設周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ガイダンス施設と一体となったにぎわい空間を創出</li> <li>・観光の「食べる」「買う」「体験する」場を提供</li> <li>・観光客の消費を高め地域に経済効果をもたらす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した料理・土産品の提供を含め土産品販売店、飲食店などの店舗を整備</li> <li>・路面や沿道の修景を行いつつ、にぎやかで趣のある空間を整備</li> <li>・空き屋を活用した休憩所の整備</li> </ul>
	7.休憩スポットの設置	仁王門門前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門前の休憩所・演出でまち歩きを誘発</li> <li>・景観を阻害している門前の駐車抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁王門を眺めながら休憩できる休憩スポットを設置</li> <li>・仁王門の景観に適する周辺の景観の整備</li> </ul>
	8.仁王堂坂展望休憩所の整備	仁王堂坂を登り切った東側旧公民館跡地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁王堂坂を登り切った休憩所としてまち歩きの負担を軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁王堂坂を登り切ったところの空き地を使って展望休憩所を整備</li> <li>・眼下の慈恩寺の田園や寒河江のまちの眺望を提供</li> </ul>
	9.まちかど休憩花壇の整備	旧観光会館跡地、三重塔前、鳥居坂下道交差付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇での休憩・写真撮影により街歩きを誘発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧観光会館跡地、三重塔前、鳥居坂下道交差付近の空き地を活用して花壇を整備</li> <li>・季節によって様相を変える花壇を背景にした写真撮影スポット紹介</li> </ul>
テーマ性のある観光コースと資源の環境整備	10.主要観光コースの園路・修景整備	仁王堂坂、参道、三重塔、鳥居坂など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恩寺のまちの景観の魅力向上</li> <li>・住民の身近なまちづくりへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活性化センター～仁王堂坂～参道～慈恩寺本堂～三重塔～熊野神社～鳥居坂（逆順路も考慮）をメインの観光コースとして、景観形成のため路面舗装の改良、沿道の石積みと植栽を基調とした修景整備（植栽は、桜、蓮、彼岸花など地域の既存植生を重視）</li> <li>・各戸では、沿道の植栽による修景や日々の手入れ・清掃</li> </ul>
	11.既存観光施設の活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な資源の有効活用と新たな魅力のPR</li> <li>・慈恩寺地区の西部の拠点とすることによるまち歩きを誘発</li> <li>・山形雛街道と連携することによる広域的周遊の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設を活用し、個人所有の貴重な雛人形のコレクションを展示・解説</li> <li>・観光客に対する売店・飲食サービスの提供</li> <li>・既存観光施設を発着とする観光コースの紹介</li> <li>・山形雛街道の取組と連携することにより、広域的に観光客を呼び込む。</li> </ul>
	12.調査に基づいた修験の道・城館址の整備	悠久の自然ふれあいゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城館址や修験の歴史文化等の資源の保全・復元と活用</li> <li>・自然嗜好や心身の健康を求める観光客への対応</li> <li>・まち歩きに加えて、滞留時間を延長</li> <li>・夜景ツアー、健康コースなどの企画実施による集客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査が進む山中に点在する慈恩寺の修験に関連する史跡の保全・復元と、それらを結ぶ遊歩道の園路、誘導サイン等の再整備</li> <li>・コース上の城館址でもある八千代公園（ゴロビツ橋跡）、山王台公園（尾山橋跡）、肥前橋公園（肥前橋跡）と9つのお堂では、植栽等の修景と当該地の歴史文化の解説板の設置</li> <li>・八千代公園や山王台公園からの夜景を眺めるツアーや修験道の歴史文化を訪ねながら体を鍛える健康コース等を企画</li> </ul>
	13.新慈恩寺十景の設定と環境整備	悠久の里・悠久の自然ふれあい・寒河江川水辺ゾーン内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する資源を活用してまち歩きを誘発</li> <li>・慈恩寺の景観資源の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恩寺十景を踏まえつつ、住民まちづくり活動の中で新たな慈恩寺十景を設定</li> <li>・再生された慈恩寺蓮池（日和田）など設定した景観・環境の整備</li> <li>・整備後は地域住民により清掃、維持管理</li> <li>・景観まちづくりに向けた取り組み</li> </ul>
	14.六地藏や醍醐のどんと昔話の環境整備	悠久の里・悠久の自然ふれあい・寒河江川水辺ゾーン内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する資源を活用してまち歩きを誘発</li> <li>・慈恩寺の民俗文化資源の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恩寺に伝わる六地藏やどんと昔話の舞台での解説板の設置、修景整備</li> <li>・整備後は地域住民により清掃、維持管理</li> </ul>
	15.寒河江川沿岸の資源の環境整備	寒河江川水辺ゾーン内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する資源を活用してまち歩きを誘発</li> <li>・慈恩寺の景観資源の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臥竜橋の展望スポットや西行戻しの涙坂の解説など寒河江川沿岸の資源の環境整備</li> </ul>
	16.田沢川ホテルの里の保全継続と環境整備	田沢川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な自然環境の保全</li> <li>・小学生をはじめ地域住民のまちづくりへの参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのホテルの保全活動の継続</li> <li>・観光客の自動車での来訪に対応して、駐車場のルール警告・誘導看板の設置</li> </ul>



施策	事業名	事業箇所	事業の狙い（期待する事業効果）	事業概要（事業イメージ）※事業は全て史跡の保存を図りながら実施する
テーマ性のある観光コースと資源の環境整備（つづき）	17. 慈恩寺を支えてきた地域の文化財の活用	醍醐ゾーン内	<ul style="list-style-type: none"> <li>日和田の民俗文化を展示・解説</li> <li>点在する資源を活用してまち歩きを誘発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日和田楯周辺の整備、まだ活用されていない文化財の整備・活用</li> <li>活性化センターで民俗芸能の衣装などの展示</li> <li>日和田から箕輪への散策用サインの設置</li> </ul>
快適で安全な移動などのための基盤施設の整備	18. 門前の通行規制などアクセスルールの設定・周知	悠久の里ゾーン内の道路・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅員の狭い道路条件における安全な自動車走行環境の確保</li> <li>安全で安心なまち歩き環境の確保</li> <li>文化財への影響の回避</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の交通計画のもと、観光客の門前の道路（宝徳寺角～三重塔～門前～上の駐車場）の一般車両の通行を禁止（沿線住民と緊急車両などは通行可）</li> <li>上の駐車場利用者は、農道経由で帰ること誘導し、サインを設置</li> </ul>
	19. 駐車場の環境整備	下の駐車場、上の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち歩きへの誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下の駐車場の舗装と駐車マス区画線、障害者用駐車マス</li> <li>下の駐車場には慈恩寺観光の入口であることをアピールする案内塔を設置</li> <li>植栽等による修景</li> </ul>
	20. 下の駐車場脇の公衆トイレの再整備	下の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地としてのアメニティの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆トイレのバリアフリー化と水洗化</li> </ul>
	21. サイクリングコース、レンタサイクルの拡充整備	寒河江駅～寒河江公園～チェリーランド～慈恩寺、寒河江側沿岸、羽前高松駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の観光ポイントとのサイクリングネットワークにより周遊性の向上と滞留時間の延長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒河江川沿岸の既存のサイクリングコースに加えて、寒河江駅～寒河江公園～チェリーランド～慈恩寺のコースのサインやマップを整備</li> <li>慈恩寺周辺の坂を考慮して寒河江駅と高松駅で電動アシスト付自転車のレンタサイクルを導入</li> </ul>
資源の魅力を伝え、安心して回遊してもらうための情報提供	22. 慈恩寺ガイドブックの作成	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺の文化や慈恩寺観光の楽しみ方を観光客に伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みちのく慈恩寺の歴史」や「醍醐のとんと昔」、教育委員会等発行の各種文献から観光客にも慈恩寺の歴史がわかりやすいガイドブックを作成</li> <li>外国人観光客に対応するため多言語でのガイドブックを作成（23も同様）</li> </ul>
	23. 散策用まち歩きマップの作成	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺観光でのまち歩きの楽しみ方、観光コース、資源の所在を観光客に伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民参加による各観光資源や施設の位置や観光コースを示したまち歩きマップを作成</li> </ul>
	24. 統一デザインで系統的な案内サインの整備	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客が迷わず散策できるように案内・誘導する</li> <li>自動車を通行ルールに従って通行させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場や本堂など要所に地域案内図サインやまち歩きのコース上に誘導サインを整備</li> <li>色、表示は統一感のあるものとし、マークや番号で各地点がわかりやすいように工夫</li> <li>外国語による表示も考慮する</li> </ul>
	25. ボランティアガイドの育成	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺の文化を伝える</li> <li>外国人観光客に対応</li> <li>多様な観光客のニーズに対応できるガイドの育成</li> <li>まちづくりへの住民参加を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活性化センターで受け付けて実施</li> <li>ボランティア協力者に定期的に講習会を実施</li> <li>案内機器等の整備</li> </ul>
観光客を誘客し、地域に効果をもたらすための仕組みづくり	26. 若返りツアーなど観光商品の企画・販売	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の嗜好に対応したツアーを企画し誘客する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺本山において、写経や修験体験などのメニューを提供</li> <li>「鑄鉄仏しょう鉢」への祈願、慈恩寺での写経、蓮の数珠づくり体験、修験の道でのトレッキングなどを組み合わせた若返りツアーなどのパッケージツアーを企画</li> <li>祈願寺として「祈願」「お礼参り」をセットとした企画でリピーターの来訪を図る</li> <li>ホームページへの掲載、旅行代理店への売り込み、市内宿泊施設等での紹介を実施</li> </ul>
	27. 観光地としての慈恩寺のPR・情報発信の強化	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺の文化的価値や観光地としての魅力を広く発信し誘客する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行雑誌等への積極的な掲載活動やSNSによる情報発信など情報発信を強化</li> <li>映画やテレビドラマ、テレビ番組、ラジオ番組などのロケ地となるようにマスコミや関係機関にPRする</li> <li>祈願寺として「祈願」「お礼参り」をセットとしたPRでリピーターの来訪を図る</li> <li>国史跡指定、デスティネーションキャンペーンのタイミングを活かしてPRを強化</li> </ul>
	28. 市内宿泊施設とのタイアップと広域的な観光地との連携	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の観光滞留性を高める</li> <li>他の観光地と連携することにより魅力をアップさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒河江温泉等市内宿泊施設とタイアップして宿泊客に宿泊とセットになった若返りツアーや慈恩寺ライトアップ・夜景ツアー、ホテル観賞、各種行祭事・イベントを提供</li> <li>県内外の観光地と連携或いは意識するようなツアーを提供</li> </ul>
	29. 既存行祭事と新たなイベントの開催と情報発信	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとなどのリピーターを誘客する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花火大会「雪月華」、慈恩寺コンサート、俳句大会・野点、ホテル祭り等の主催団体に事業の継続を要請するとともに、新たなイベントを検討し開催、情報発信（27と同様）</li> </ul>
	30. 料理・土産品の開発・商品化	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光の「食べる」「買う」の要素を提供</li> <li>観光客の消費を高め地域に経済効果をもたらす</li> <li>地域住民のまちづくりへの参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>醍醐のごっつおの取組を活かし、現在の寺務所や今後整備される観光施設で提供する料理や土産品を住民参加で開発する</li> <li>商工団体等による料理・土産品の開発と地域での販売</li> </ul>
地域資源を継承し、地域経営を持続するための体制強化	31. 地域での「慈恩寺学」の探求と普及	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化の心のバックボーン、拠り所の形成</li> <li>住民による地域文化の継承</li> <li>地域住民のまちづくりへの参加促進</li> <li>子どもたちが学び伝えられる機会を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈恩寺の歴史文化、宗教、地域文化、自然との共生など、地域学としての慈恩寺学、醍醐学を確立すべく、識者とともに地域住民が探究、実践（関連事業22,23,30）</li> <li>教育委員会などの調査結果や高齢の地域住民の話をもとに定期的な勉強会を開催</li> <li>小中学校等での慈恩寺学、醍醐学の紹介や子どもたちが学びの成果を発表する場づくり</li> </ul>
	31. 地域運営体制の強化と人材育成	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的な観光まちづくり</li> <li>観光資源を活用した地域づくりへの波及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画の検討委員会から、本山慈恩寺、醍醐地域、慈恩寺観光振興会、商工会、行政が中心となった実務レベルの運営体制を構築</li> <li>内外に開かれた組織での人材育成</li> <li>地域づくりにつながる体制づくり</li> </ul>

### 第 3 章 事業推進に向けて



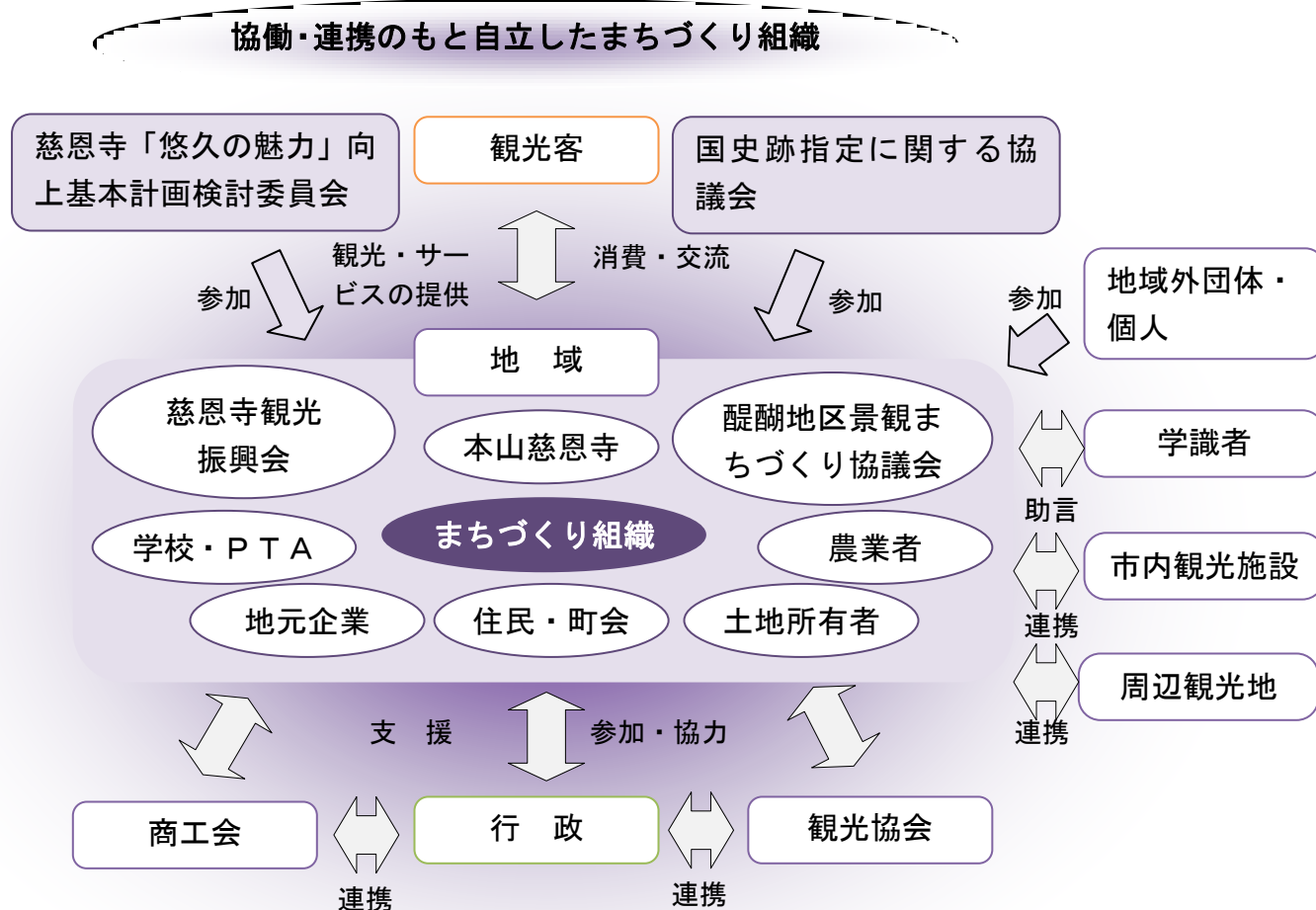
## 1. 事業推進体制の考え方

事業の推進にあたっては、地域・観光関係者・商工関係者・行政等が、それぞれの立場で慈恩寺地区の魅力向上に関わっていただける体制を構築することが重要です。

また、地元住民をはじめ、関係者全てが将来像を共有し、主体的かつ着実に計画を実行するとともに、行政はその支援や進捗状況の確認・調整を行うことが重要です。

本格的な観光振興と地域づくりに向けて、多くの関係者や意欲のある人たちが参加するまちづくり組織を設立します。まちづくり組織は、当面は協議会など柔軟な体制とし、将来的には自立した事業経営を行うために、まちづくり会社などを設立することを検討して行きます。

まちづくり組織には、これまでの経緯から、慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会や国史跡指定に関する協議会も参加することで、本計画及び国史跡の保存管理計画・整備計画と整合のとれた事業を推進します。



## 2. 事業プログラム

- ・今後5年間を目安に事業プログラムを以下のように設定する。
- ・本計画において欠かすことができない重点事業と当面進める先行事業を設定する。
- ・先行事業については、平成26年6～9月の山形デスティネーションキャンペーン、平成26年度の市制施行60周年にあわせて事業展開する。
- ・本事業プログラムは、基本計画時点の予定であり、実施計画での検討をはじめ今後の各事業の進捗の中で適宜、適切に見直す。
- ・国史跡整備計画による事業及び5年間の検証を基に見直しを行う事業は、改めて事業プログラムを設定する。

施策	事業	重点◎ 先行○	事業プログラム				事業主体（方法） ※「地域」には本山慈恩寺を含む	管理運営主体（方法）
			H26	～H28	～H30	H31～		
文化財の保全と魅力的な活用 のための施設整備	1.慈恩寺悠久の文化ガイダンス施設の整備	◎	整備計画による				行政（史跡）	行政＋指定管理者
	2.活性化センターの活用	◎	一部整備	整備			地域＋行政支援	地域（まちづくり組織）
	3.本堂境内の環境整備		整備計画による				行政（史跡）＋地域参加	本山慈恩寺
	4.3ヵ院と坊の庭園・資料の活用	◎	整備計画による				所有者＋行政支援	所有者
	5.慈恩寺蓮の蓮池の復元	◎	整備計画による				行政（史跡）＋地域参加	地域（まちづくり組織）
観光の楽しみと回遊性を高める ための施設整備	6.観光売店への支援	◎	実施計画	調整	調整	整備	所有者＋行政支援	所有者
	7.休憩スポットの設置	◎	体制整備・実施				所有者＋行政支援	所有者
	8.仁王堂坂展望休憩所の整備	◎	実施計画	調整・設計	整備		行政（環境）	行政＋指定管理者
	9.まちかど休憩花壇の整備		整備計画による				地域＋行政（環境）	地域（まちづくり組織）
テーマ性のある観光コースと 資源の環境整備	10.主要観光コースの園路・修景整備	◎	整備計画による				行政（史跡・土木）＋地域	地域（まちづくり組織）＋行政
	11.既存観光施設の活用	◎	実施計画	調整			所有者＋行政支援	所有者
	12.調査に基づいた修験の道・城館址の整備	◎	整備計画による				行政（史跡）	地域（まちづくり組織）
	13.新慈恩寺十景の設定と環境整備		実施計画	設計・一部整備	整備		行政（環境）＋地域参加	地域（まちづくり組織）
	14.六地藏や醍醐のとんと昔話の環境整備		実施計画	設計・一部整備	整備		地域＋行政支援	地域（まちづくり組織）
	15.寒河江川沿岸の資源の環境整備		実施計画	設計・一部整備	整備		行政（環境）＋地域参加	地域（まちづくり組織）
	16.田沢川ホテルの里の保全継続と環境整備		実施計画	設計・一部整備	整備		行政（環境）＋地域参加	地域（まちづくり組織）
快適で安全な移動などのための 基盤施設の整備	17.慈恩寺を支えてきた地域の文化財の活用		実施計画	設計・一部整備	整備		行政（史跡）＋地域参加	地域（まちづくり組織）
	18.門前の通行規制などアクセスルールの設定・周知	○	実験実施	本格実施			地域＋行政支援	地域（まちづくり組織）
	19.駐車場の環境整備	○	実施	整備			行政	地域（まちづくり組織）
	20.下の駐車場脇の公衆トイレの再整備	○	実施計画	設計・実施			行政	地域（まちづくり組織）
資源の魅力を伝え、安心して 回遊してもらうための情報提供	21.サイクリングコース、レンタサイクルの拡充整備	○	一部整備	整備			地域＋行政	行政＋地域（まちづくり組織）
	22.慈恩寺ガイドブックの作成	○	作成体制整備	作成	更新継続	更新継続	行政＋地域参加	地域（まちづくり組織）
	23.散策用まち歩きマップの作成	○	作成	更新継続	更新継続	更新継続	地域（まちづくり組織）＋行政支援	地域（まちづくり組織）
	24.統一デザインで系統的な案内サインの整備	○	設計・一部整備	整備			行政＋所有者	行政＋所有者
観光客を誘客し、地域に効果 をもたらすための仕組みづくり	25.ボランティアガイドの育成	○	体制整備、実施	実施・継続	継続	継続	観光団体＋行政支援	観光団体
	26.若返りツアーなど観光商品の企画・販売		実施計画	体制整備、企画	実施	継続	観光団体＋地域＋行政支援	観光団体＋地域
	27.観光地としての慈恩寺のPR・情報発信の強化	○	体制整備、実施	実施・継続	継続	継続	観光団体＋本山慈恩寺＋行政支援	観光団体
	28.市内宿泊施設とのタイアップと広域的な観光地との連携		実施計画	体制整備、実施	継続	継続	観光団体＋地域＋行政支援	観光団体＋地域
	29.既存行祭事と新たなイベントの開催と情報発信		実施計画	体制整備、実施	継続	継続	観光団体＋地域＋行政支援	観光団体＋地域
地域資源を継承し、地域経営 を持続するための体制強化	30.料理・土産品の開発・商品化	○	体制整備、実施	実施・継続	継続	継続	地域（まちづくり組織）＋商工会	地域（まちづくり組織）
	31.地域での「慈恩寺学」の探求と普及	○	体制整備、実施	実施・継続	継続	継続	地域（まちづくり組織）	地域（まちづくり組織）
	32.地域運営体制の強化と人材育成	○	体制整備、実施	実施・継続	継続	継続	行政、本山慈恩寺、地域、商工会	地域（まちづくり組織）

## 資料編

計画の策定経過.....	22
1. 検討委員会の構成.....	22
2. 計画の策定経過.....	23

## 1. 検討委員会の構成

検討委員会は、寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画策定にあたり、計画について検討を行い、市長に必要な提言を行う委員会である。

委員会は、本山慈恩寺関係者、慈恩寺・醍醐地域関係者、史跡指定関係者（学識）、商工会関係者、農業団体関係者、飲食業・観光団体関係者、交通・運輸団体関係者、公益団体関係者、公募応募者の委員で構成した。

寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会 委員名簿

No	氏名	備考	小委員
1	大沼保義	寒河江市商工会 会長 【委員長】	○
2	那須孝可	慈恩寺観光振興会 会長 【副委員長】	○
3	布施智典	本山慈恩寺 管長代行	
4	菅慶舜	本山慈恩寺 役員	○
5	長谷川清繁	慈恩寺区 区長	
6	猪倉謙太郎	醍醐地区景観まちづくり協議会 会長	
7	茂木藤雄	西部地区公民館 慈恩寺分館 分館長	○
8	佐藤正義	醍醐地区町会長連合会長	
9	秋葉昭紀	醍醐小学校PTA 副会長	
10	宇井啓	慈恩寺史跡指定推進委員会 委員長	
11	安藤博章	寒河江市商工会 副会長	○
12	木村洋祐	寒河江市商工会 青年部 相談役	
13	瀧川輝子	寒河江市商工会 女性部 理事	
14	柏倉亮祐	寒河江市商工会 前観光サービス部会長	○
15	齋藤晃一	さがえ西村山農業協同組合 常務理事	
16	後藤正幸	寒河江料理飲食業組合 組合長	
17	大沼淳一	寒河江市菓子組合 副会長	
18	古澤康太郎	寒河江市観光協会 会長	
19	遠藤伸一	東日本旅客鉄道株式会社 左沢営業所 所長	
20	多田恵一	山形県ハイヤー協会寒河江支部 支部長	
21	井田進一郎	公益社団法人 寒河江青年会議所 理事長	
22	鈴木正夫	公募委員	
23	佐藤稔	公募委員	
24	寒河江松夫	公募委員	
25	草刈重治郎	公募委員	
26	渡邊亮一	公募委員	
27	山本洋一	公募委員	

オブザーバー	松田吉紀	東北経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長補佐
協力団体	佐藤宏明	寒河江市商工会 広域指導課長
	斉藤浩永	寒河江市商工会 振興係長

## 2. 計画の策定経過

### 1 寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会の活動

- 第1回委員会 平成24年11月7日(水)午後 市役所議会会議室
  - ・委員長(大沼保義 寒河江市商工会長)、副委員長(那須孝可 慈恩寺観光振興会長)を選出
  - ・協議、決定した内容
    - 委員会の意見をもとに、市が基本計画作成をコンサルタント会社に委託していくことを了解。以前作成された「慈恩寺ルネッサンス(昭和63年)」のような計画をつくりあげていくことを確認。
    - [委員数 20人]
- 第2回委員会 平成25年2月25日(月)午後 文化センター研修室
  - ・協議、決定した内容
    - コンサルタント会社への項目等を取りまとめ、市に要請した。
- 福島県会津磐梯町国指定史跡慧日寺視察 平成25年3月25日(月)  
市教育委員会主催 慈恩寺国史跡指定推進委員会視察研修に同行 5人参加
- 第3回委員会 平成25年4月24日(水)午後 市議会会議室
  - ・協議、決定した内容 [委員の増員があり27人となる。]
    - ア 小回りの利く活動ができるよう設置した小委員会の委員6人が決定した。[小委員会委員の構成: 商工会関係3人、慈恩寺、醍醐地域関係2人、本山慈恩寺関係1人]
    - イ ワークシートにより、提案・アイデアを広く聞くこと。
    - ウ 市がコンサルタント会社への依頼する業務に、計画の概要がわかる 啓発用のCG製作にかかる業務を加える。
- 計画策定にかかる提案を市と共同して募集 H25.5.20~6.28 68件  
期間中に、市のホームページ上に「悠久の魅力向上広場」、「慈恩寺地域の案内マップ」、「慈恩寺地域に関する市報さがえ(平成24年度)掲載記事」を開設し情報を提供
- 慈恩寺現地視察研修会 平成25年5月30日(木) 慈恩寺地域内  
指導 宇井啓氏 委員19人、事務局4人参加
- 基本計画作成業務委託者決定  
市が簡易公募型プロポーザル方式により、寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画作成業務の受託事業者を選定し、業務を委託  
受託事業者 株式会社 ケー・シー・エス 東北支社
- 第1回小委員会 平成25年7月4日(木)午後 市議会会議室
- 第4回委員会 平成25年8月2日(金)午後 慈恩寺陣屋
  - ・協議、決定した内容
    - ア 全般的な日程
    - イ 業務受託者が行う計画作成業務
    - エ 緊急性のある提言

## 2. 計画の策定経過

オ 5つの個別事項

- 緊急性のある提言を市長に提出 平成25年8月20日(火)
- 第2回小委員会 平成25年9月10日(火)午後 市立図書館会議室
- ワーキンググループ参加による小委員会への協力を醍醐地区町会長連合会長に依頼  
平成25年9月20日(火)
- 第5回委員会・視察研修 平成25年10月9日(木) 仙台市青葉区外  
・協議、決定した内容(研修時の車内で開催)
  - ア コンセプトと基本方針
  - イ ワーキンググループが参加する小委員会で使用する資料
- ・視察研修 仙台市青葉区定義観光協会、定義如来
- 臨時小委員会 平成25年10月9日(木)視察研修会終了後 陣屋本店  
ワーキンググループ会議の資料を決定
- 小委員会委員と地域の皆さんとの話し合い第3回小委員会  
平成25年10月16日(水)夜 慈恩寺活性化センター  
醍醐地区町会長連合会長の募集に応じた、地域の方10人のうち9人が参加
- 第4回小委員会 平成25年11月6日(水)午後 市立図書館会議室
- 第6回委員会 平成25年11月26日(火)午後 市議会会議室  
・協議、決定した内容(研修時の車内で開催)
  - ア 事業プログラム
  - イ 重点事業及び先行事業
  - ウ 地域説明会の日程
- 地域説明会 平成25年12月10日(火)夜 慈恩寺活性化センター  
地域の方31人が参加
- 第5回小委員会 平成25年12月17日(火)午後 市議会会議室
- 醍醐地区町会長連合会長に、町会長等の意見収集用文書配布を依頼  
平成25年12月27日(金)  
地域の方7人から意見が寄せられた
- 第7回委員会最終委員会 平成26年1月23日(木) 市議会会議室  
計画原案について
- 検討委員会委員長市長へ提言 平成26年2月12日(水)

## 2 検討委員会委員長提言後の手続き

- パブリックコメントで意見募集 H26.2.20~3.14
- 計画啓発用ビデオを制作
- 寒河江市慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画策定 平成26年3月



**寒河江市 政策推進課**

〒991-8601

寒河江市中央一丁目9番45号

TEL 0237-86-2111

FAX 0237-86-7220

平成26年3月策定